

平成31年度 学校自己評価システムシート（県立上尾高等学校定時制課程）

目指す学校像	基礎学力や基本的な生活習慣を身に付け、地域に貢献できる人材を育成する
--------	------------------------------------

重点目標	1 学ぶ喜びを実感できる学習指導の工夫から、生徒の学習意欲向上を図る。 2 一人一人に応じた生徒指導に取り組み、基本的な生活習慣を確立し進路実現につなげる。 3 特別活動の充実を図り、生徒に自信と誇りを持たせるように努める。 4 保護者や地域に信頼され、必要とされる学校を目指す。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目（年度達成目標を意味する。）は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	学習指導の工夫により、生徒の学習意欲を高め授業への参加を促すとともに、基礎学力を向上させる必要がある。	・学習意欲と基礎学力を向上させる	①少人数、習熟度別授業の実施とチームティーチングの活用 ②未履修防止に向けた出席指導 ③「目指す学校像」に合わせた新教育課程の編成	①学習サポーター報告と始業前補習参加者の推移 ②欠課時数による欠点保有率の前年度比較 ③学校組織として計画的に教育課程が編成されたか		
2	多くの生徒の目標が「目指せ卒業」である。個々に応じた生徒指導から基本的な生活習慣を確立し、低学年からのキャリア教育を充実させる必要がある。	・基本的な生活習慣と進路意識の改善	①巡回指導や情報共有による生徒トラブルの未然防止 ②スクールカウンセラー等の教育相談体制の充実 ③進路実現に向けた外部講師の活用	①②生徒指導件数や生徒異動の推移 ③進路未定者数の前年度比較		
3	自己肯定感の不足や、他者との人間関係構築が不得手な生徒が多い。学校行事等を充実させ、コミュニケーション能力を高め達成感を得られる取り組みが必要である。	・学校生活を通じてのコミュニケーション能力を向上させる	①生徒が主体的に運営する行事の推進 ②学校行事等による講演会や高校生自立支援事業の活用	①実行委員会等の活動状況や生徒会役員の立候補者数 ②生徒アンケートの内容		
4	進路先や入学生生の状況は、上尾周辺がほとんどである。地域を理解し、学校を理解してもらう取り組みが必要である。 PTA活動は充実しているが、生徒減少の中、活動内容の検討が課題である。	・教育活動の情報発信を充実させる	①学校HP更新と学校情報誌の作成 ②学校説明会の実施(2回)	①更新回数等の前年度比較 ②説明会参加者と受検者の割合		

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和 年 月 日
学校関係者からの意見・要望・評価等	